

枚方テニスリーグ2018に寄せられたコメント

(赤字は枚方リーグ担当者の回答、コメントです)

2019/4/15

2部

一点ご質問なのですが、テニス協会様に代表者の住所をお知らせする必要性は理解できるのですが、他チームの代表の方にお知らせする必要があるのでしょうか。代表者同士のやり取りではライン、メールが主になっており電話番号は念のためにあればいいかと感じます。個人情報の取扱いの観点からの対応をお願いします。

→ご指摘いただいたご意見に沿うように改正したいと思います。

3部

幹事としての感想を下記①②③にてご報告させていただきます。ご参考にして頂ければ幸いです。

①試合期間 7月～1月の間ですが、9月～3月に変更にするのは難しいでしょうか。

7,8月の開催は非常に暑く、試合中に熱中症で倒れそうになる選手がでました。
危険な感じがします。

→新年度が4月から始まりますので、3月まで開催は、厳しいものがあるかと思えます。

7、8月の期間については、暑くなるかと思えますが、予想がつかかねます。

そこで、2019年度は、6月中旬～2月中旬までの開催期間で検討しようかと思えます。

②セルフジャッジに対する、大声で反論する事件も起きました。紳士的な態度で徹するようにもう一度、総会等で、細かく必要にご指導頂けたら幸いです。幹事に指導し、メンバーに展開することを徹底させるとか。(ホームページ掲載、総会で少しだけ言うでは浸透してない感じがします。)

大声でマナーに反するような反論は、逆にしつこい場合相手ポイントになるとか枚方リーグの新ルールに書いてもいいような気がします。ジャッジするのは、ボールが落ちた側がジャッジする。落ちた側がジャッジする前に、入った入らないと打った側が先に言うてはいけない。異論があれば、入ったので、アウトではないでしょうか?と敬語で言う。絶対入った、絶対アウト、今のは入った、アウトだとか決め付けたような言い方をしてはいけない等、さらに細かく指導、必要ならルール化したほうがいいような気がします。

チャレンジシステムでも導入しないかぎり、入った入らないは人間の目で判断するには限界があり完全に判断できないスポーツであることを今一度ご指導のほどお願い申し上げます。

→セルフジャッジの方法については、HPに記載しておりますが、下記に転記します。

参加チームが、メンバー全員で共有して下さい。

枚方市大会出場の皆様へ

日本テニス協会資料より

フェアプレイはスポーツの基本です。テニスも例外ではありません。
対戦相手をレスpektしてプレーすることが大切です。

残念ながら、コート内では様々なトラブルが発生しています。その大半はポイントの
判定に起因するもので、「チェアアンパイアがつかない試合方法（セルフジャッジ）」
が適切に行われていないことが背景にあると思われます。

正しいセルフジャッジを目指し、次の5原則の徹底とご理解をお願いします。

- ① 判定が難しい場合は「グッド」 相手に有利に！
- ② 「アウト」「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えた時！
- ③ サーバーはサーブを打つ前に、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
レシーバーは、うなずく・手を挙げるなど答えてあげましょう
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、ハンドシグナルを使って速やかに！
- ⑤ コートの外の人には、セルフジャッジへの口出しはしない！

セルフジャッジでは、プレーヤーの人格が試されています。

③試合方式を滋賀県のリーグ戦のように、場所と日にちを、枚方市協会決めて頂いて、
一度に開催するようにするのは難しいでしょうか。

幹事の負担が非常に大きいとどのチーム幹事に聞いても同じ感想です。

そろそろ考えて頂ければ助かります。

→現在の大会におけるコート確保以上の確保は、市民の皆さんにご迷惑をかけることになり
厳しい状況です。幹事の負担軽減のためにも説明会を最大限にご活用下さい。

4部A

枚方市テニス協会、役員の皆様、いつもお世話になりありがとうございます。

今年度も皆様のご尽力でリーグ戦やその他の試合を楽しませていただきました。

本当にありがとうございました。

ここ最近では毎年のことながら、試合調整が難航し、本年度も1/26にやっと最終戦を終えまし
た。年々、早い時期のオファーに応じて下さるチームが少なくなっており、今回も初戦が11
月のところもあり、コートを借りて案内すれどもすれども反応なしのチームには頭を抱えてし
まいます。

もう枚方リーグから撤退してはとの声が、現状を憂えるチームメンバーから上がったたりもして
おり、次年度申込みについては厳しい選択を強いられる可能性が出てきました。メンバーにも
相談しながらできるだけ前向きに検討していきたいと思っています。

役員の皆様には、これから各リーグ全チームの結果報告の突合せ等、煩雑な確認作業のお手間
を思うと頭が下がります。

たいへんお手数をおかけ致しますが、どうぞよろしくお願い致します。

→毎年、相手チームの問い合わせには、ASAP (As Soon As Possible) の返信をお願いし
ているのですが、まだまだのようですねぇ。幹事の皆さんには、本当に多大な負担をおかけ
していることと思いますが、2019年のリーグ戦参加については、チームでよく相談され
て、参加いただけるのをお待ち申し上げます。

4部B

無事今年も全試合消化することができました。普段なら対戦できない方ともテニスができるいい機会としてメンバー一同楽しみながら対戦しています。

来年以降もよろしくお願いします。

→楽しんでいただけて幸いです。

5部B その1

5部B、2018年度の対戦が終了しました。

なかなか対戦が組めないので、1月に入って、やっと年間リーグ戦が終了しました。

他のチームも最終週までかかるチームがいると思います。

我がチームは、平均年齢が高めなので、できるだけ若手に頑張ってもらおうと思っているのですが、5部ともなると、元コーチであったり、バリバリ活躍していた学生時代の再燃であったり、将来を嘱望される若者であったり、ド素人の試合にしては、対戦相手に恐怖感も感じるほどのスゴイ選手が、続々出られるので、無名戦士（カッコよく言いすぎ）の我がチームは、草トー（草トーナメント）では味わえない、緊張感を楽しみながら、胸を借りて思いの限り対戦させていただきました。

今回のリーグ戦で、感じましたことは、ルールに順守しなければならない、というのでした。

枚方リーグの対戦において、集合時間の設定から15分遅れた場合は、棄権とみなし敗戦となることはルール条項のどの部分に載っているのかは調べていませんが、枚方リーグの対戦を進めていくうえで、常識の部分でもありますので、今年度の試合において、我がチームの選手が遅刻してしまいましたので、潔く敗戦を受け止めました。

これは、ひとつの例でもあるのですが、そもそもテニスは紳士淑女のスポーツですので（と言いましても、紳士淑女を知らない人が多い今日この頃ですので、それを説明するのは、テニスを始めるときに知っていただきたいと思うのは私だけでないと思いますが）、試合中に対戦している4人以外の方（チーム監督や応援に来ている方など）が、ゲーム中のボールオンラインやアウトについてや、ルール上のもめ事に口を挟むことは、もってのほかのことと思います。自チームにコーチングすることは基本的に認められていないと思ってますし、それをあからさまにコーチングすることや微妙なジャッジに口を挟むことはあってはならないことではないでしょうか。

試合に勝っても負けても、所詮アマチュア（素人）の楽しみの中で試合（決して軽んじた意味で書いているのではないことをご理解ください）のチャンスをもたらしている枚方リーグの対戦ですので、常に枚方リーグで試合できることに感謝と敬意を持ちながら、常にそのルールを尊重し、試合に臨んでもらいたいと思いますし、対戦結果に目くじら立てることもあるかもしれませんが、それはルールの中での結果として受け止めることが、対戦の両者が気持ち良く終えることができる大きな要素ではないかと、今回の遅刻という失態をおかしてしまったことで感じました。

やはり、アマチュアの試合は「楽しく」が最も大切だと思いますし、それを担保するのがマナーやルールだと思います。

一年間ありがとうございました。

→いつも頭の下がるコメントをどうもありがとうございます。セルフジャッジについては、3部の回答欄に記述してありますので、ご参考になさってください。

また、コーチングについては、ルールブックに記載されている下記内容をご覧ください。

コーチングについて

リーグ戦では、ベンチにコーチを置いたとき、コーチングできますか？

JTA TENNIS RULE BOOK2018 に準じて、セットブレイク又はエンド交代のとき選手へコーチしてもよい。

ただし、第1ゲーム後とタイブレイク中のエンド交代のときはできません。

コーチは各チーム1名のみです。

コーチの交代はいつでも可能です。交代時は、相手コーチに交代することを伝えてください。

コート内には、選手とベンチコーチのみが入れます。それ以外の観客は試合コートの外から応援するようにしてください。

(2005/06/18 追加)

ただし、リーグ戦では、チーム間の親睦という面を考慮して、お互いのチーム代表者、選手が了解すれば、コート内に観客をいれてもよい。ベンチコーチに関しては、各1名となるよう配慮し、観客はアドバイスしてはいけません。

(2005/06/26 追加)

6部A

いつもお世話になりありがとうございます。

枚方テニス協会の皆様のご尽力でリーグ戦や市民大会等を楽しませていただいております。

→協会メンバーへのねぎらいのお言葉ありがとうございます。

7部A

今年も楽しくテニスを楽しめました。

色々と お世話になりました。

→テニスを楽しんでいただけて何よりです。

8部B

平素は、テニス発展のために多岐にわたりご尽力いただき感謝申し上げます。

さて、先日リーグ戦を消化する中で、次のようなことが発生しました。

相手方と調整し、こちらがコートを準備し、相手方がボールを用意することとなり当日を迎えました。

当日相手方が、用意したボールは、JTA 推奨球でした。

その試合については、予備のボールの用意もなかったため、推奨球で試合をしました。

我々は、これまで、公認球を使用し、リーグ戦を行っており、それが当然であると認識していました。

貴協会のホームページにも枚方テニスリーグ 2018《大会要項》にもボールについての記述

がありませんので質問します。

枚方テニスリーグで使用するボールは、公認球か推奨球のどちらですか。

メーカーの指定は、ありますか。

ITF、JTA どちらの公認、推奨が必要ですか。どちらかでよいのですか、どちらも必要ですか。ご教示願います。

また、今回このようなことがありましたし、これまでの対戦相手で、ダンロップフォートしか試合球として認めないチームもありました

このため、来年度からの大会要綱等に試合球についての詳細な記述をお願いします。

→ご指摘頂きましたリーグ戦でのボールについての記述がないという件につきまして、今後どうしてゆくかにつきまして協会内の審判資格を有する者や経験豊富なメンバーに本件問題提起させていただきまして、来年度以降、以下のように記述する予定です。

●使用ボールは、JTA 公認球とします。

※そして、現時点での公認球を明記します

貴重な問題提起をどうもありがとうございました。

リーグ戦を担当していて、初めてのご指摘でした。

どうもありがとうございました。

9部

枚方テニスリーグは今回が初めての参加で、日程調整等不慣れな点もありましたが、他チームも好意的で非常に楽しく取り組むことができました。

また来年度以降も宜しくお願い致します。

→初めてのリーグ戦参加で、チーム数も多い中、リーグ戦を楽しんでいただけて何よりです。ご参加いただき、ありがとうございました。

9部

今年は6チームと試合でしたので、多く試合は出きて楽しかったのです。

でも消化には苦戦しました^^；。

結構常連のチームさんは7、8月を避ける傾向がある？ので開始時期を7月ではなくもう少し涼しい6月とかにすると試合の進み具合も早くなるのではと思います。

ご検討の程、よろしくお願いいたします。

→2019年度のリーグ戦で検討してみようかと考えております。ご期待に沿えない場合は、ご容赦下さい。

●9部を7チームで実施したことについての意見

3,4チームでのリーグ戦よりは、消化出来なかったとしてもこちらの方が良かったと思います。さすがに、2試合とか3試合では物足りないと思います。

宮原会長からの「枚方テニスリーグ2018終了にあたって」のメッセージ

リーグ参加の皆様、お世話していただきましたチーム代表者の皆様、スムーズな自主運営にご協力いただきありがとうございました。

参加チームの方々からの貴重なご意見ありがとうございました。

次年度の開催に向けて検討していきます。

今後もリーグをはじめとする協会事業へのご参加をよろしくお願いいたします。

“テニスを楽しみましょう”

枚方市テニス協会 会長 宮原茂利